

地球の善い一部になる。

環境共生経済への移行学

ASAHI ECO BOOKS 38

小林 光 著

360 ページ

環境にいいものを買ったり、使ったり。
消費も、立派なエコになる。

環境は経済のお荷物、との意識が阻む「グリーン経済」。環境対策にお金を投ずることが当たり前になれば、新しい仕事生まれ、グリーン経済は現実になります。

社会の意識変革をうながすには、制度をどう設計すればいいのか？ 環境事務次官として日本の環境政策をリードした著者が、経済界も本気で取り組みたくなる「第三世代の環境政策」の考え方と、たくさんの具体的なアイデアを提案します。

地球温暖化の脅威は、年間 7500 億ドル規模のビジネスチャンスでもある。

第一章 環境に本気になれない理由

第二章 環境取り組みに本気を出させる仕掛けとは

第三章 環境に本気を出させる政策とは

第四章 グリーン経済に向けた戦略的課題

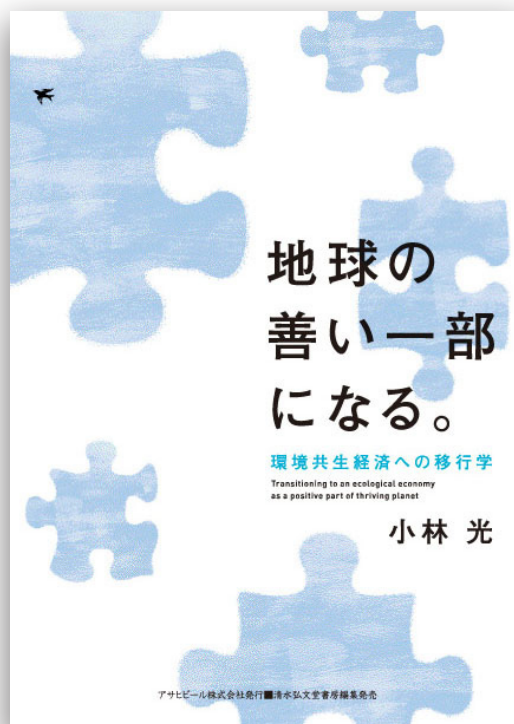
第五章 環境共生は地域から

第六章 グリーンな経済に向けた海外の動きとそこから学ぶこと

小林 光 (こばやし・ひかる)

慶應義塾大学政策・メディア研究科特任教授、博士(工学)。1949年東京生まれ。1973年、慶應義塾大学経済学部卒業、同年環境庁(当時)入庁後、京都議定書に関する内外の交渉、我が国初の地球温暖化防止法制(地球温暖化対策推進法)や環境税制、国民の参加などを担当。2009年7月より環境事務次官。水俣病被害者諸団体との和解、水俣地域の再生を推進。環境省を退官し、2011年4月から慶應義塾大学政策・メディア研究科特任教授。

編著書に『日本の公害経験』、『環境保全型企業論』、『エコハウス私論一建てて住む。サステナブルに暮らす家』、『低炭素都市』、『環境でこそ儲ける』、『ザ・環境学』などがある。自宅でエコハウスを実践するほか、溪流釣り、蝶の観察など野外活動、料理が趣味。



本体 2500 円 + 税

ISBN978-4-87950-620-7 C0051

2016年1月発行

アサヒビール 発行
清水弘文堂書房 編集発売

書店(帖合)印

ご担当

2500

ISBN978-4-87950-620-7 C0051 ¥2500E

注文数

書名

地球の善い一部になる。
環境共生経済への移行学

発行所

清水弘文堂書房

著者

小林光

定価：本体 2500 円 + 税